

中学生の太郎さんの住むまちでは近く市長選挙がある。太郎さんは、この選挙に関心を持っている。①～⑤に答えなさい。

- ① 太郎さんは、現在の選挙の原則を調べて、次のようにまとめた。□(X) □(Y)に当てはまることばの組み合わせとして適当なのは、(1)～(4)のうちではどれですか。一つ答えなさい。

一定の年齢に達したすべての国民に選挙権が認められることを□(X)選挙といいます。一人が一票を持ち、□(Y)投票が行われます。
地方公共団体における首長(市長など)と議会の議員は、有権者の直接選挙により選出されます。

- (1) □(X) : 制限, □(Y) : 無記名で (2) □(X) : 制限, □(Y) : 記名して
(3) □(X) : 普通, □(Y) : 無記名で (4) □(X) : 普通, □(Y) : 記名して

- ② 太郎さんは、市長に期待することを父から聞いた。次に示した父の話について、(ア)～(ウ)に答えなさい。

生活や産業の基盤となる^(a)道路、公園、学校などの整備に積極的に取り組んでほしい。また、^(b)中小企業の支援にも力を入れてほしい。このまちには独自の技術を持つ中小企業が少なくない。市からの支援で中小企業の活動が活性化すれば、まちの発展につながるだろう。

- (ア) 下線部(a)に関して、おもに国や地方公共団体が整備にあたる公共施設のことを何といいますか。解答用紙に合わせて、当てはまることばを漢字二字で書きなさい。

- (イ) 下線部(b)に関して、右の資料は、東大阪市議会が、市内の中小企業を支援するために制定した法(きまり)の一部である。資料の□に当てはまる、地方公共団体が制定し、地方公共団体でのみ適用される法(きまり)を何といいますか。

東大阪市中小企業振興 □

……小規模企業者を中心とする本市の中小企業は、地域経済を支える本市の重要な存立基盤であるとともに、熟練の技術を引き継ぎ、産業を活性化させ、市民の^(c)雇用やまちのにぎわいを創出する源です。……

ここに、中小企業の振興を市政の重要な柱として位置付けるとともに、本市の中小企業の振興に関する基本理念及び施策等を定め、もって地域経済を活性化し、豊かで住みよいまちの実現に寄与するため、この□を制定します。

(東大阪市 Web ページから引用)

- ③ 太郎さんは新聞を読み、市長選挙の立候補予定者の一人が工業団地の造成によるまちの発展を訴えていることを知った。開発などにあたって、事業の規模が一定の基準を超える場合、その事業が環境にどのような影響を及ぼすかを事前に調査することを何といいますか。

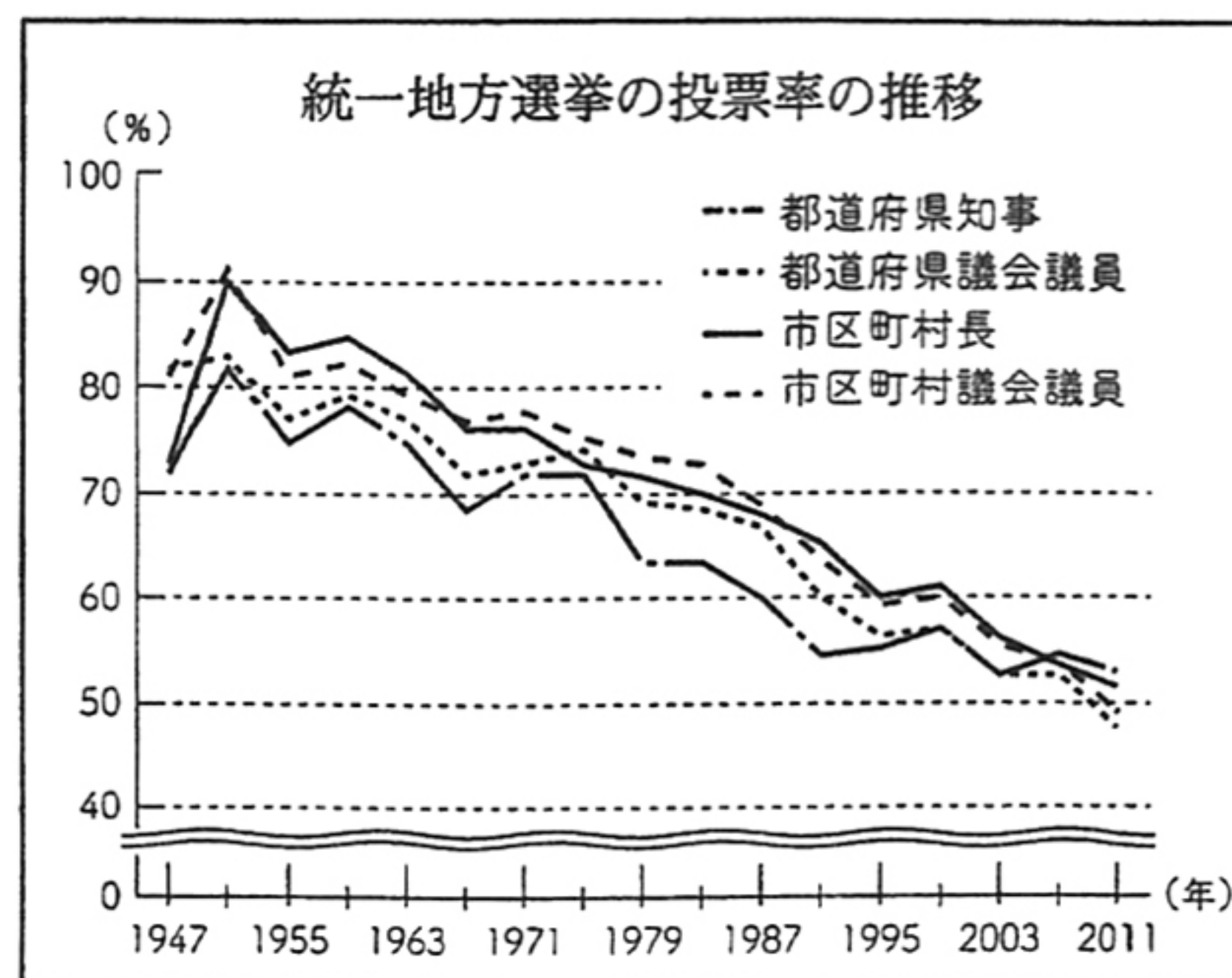
- ④ 太郎さんは、地方公共団体における首長と議会は、一方が強くなりすぎないように、互いを抑制し、^{よくせい}均衡を保つ関係にあることを調べた。この関係について、首長と議会のそれぞれが持つ抑制の権限を一つずつあげて、解答用紙の書き出しに続けて書きなさい。

- ⑤ 太郎さんは、地方選挙に関する資料を集めてノートにまとめた。(ア)～(ウ)に答えなさい。

■統一地方選挙について

地方公共団体の首長と議会の議員の選挙を全国的に期日を統一して行うのが統一地方選挙である。1947年から4年ごとに行われている。

資料1は、これまでに17回行われてきた統一地方選挙の投票率の推移を示したものである。いずれの選挙も投票率は□(d)年をピークに下降傾向を示していることがわかる。



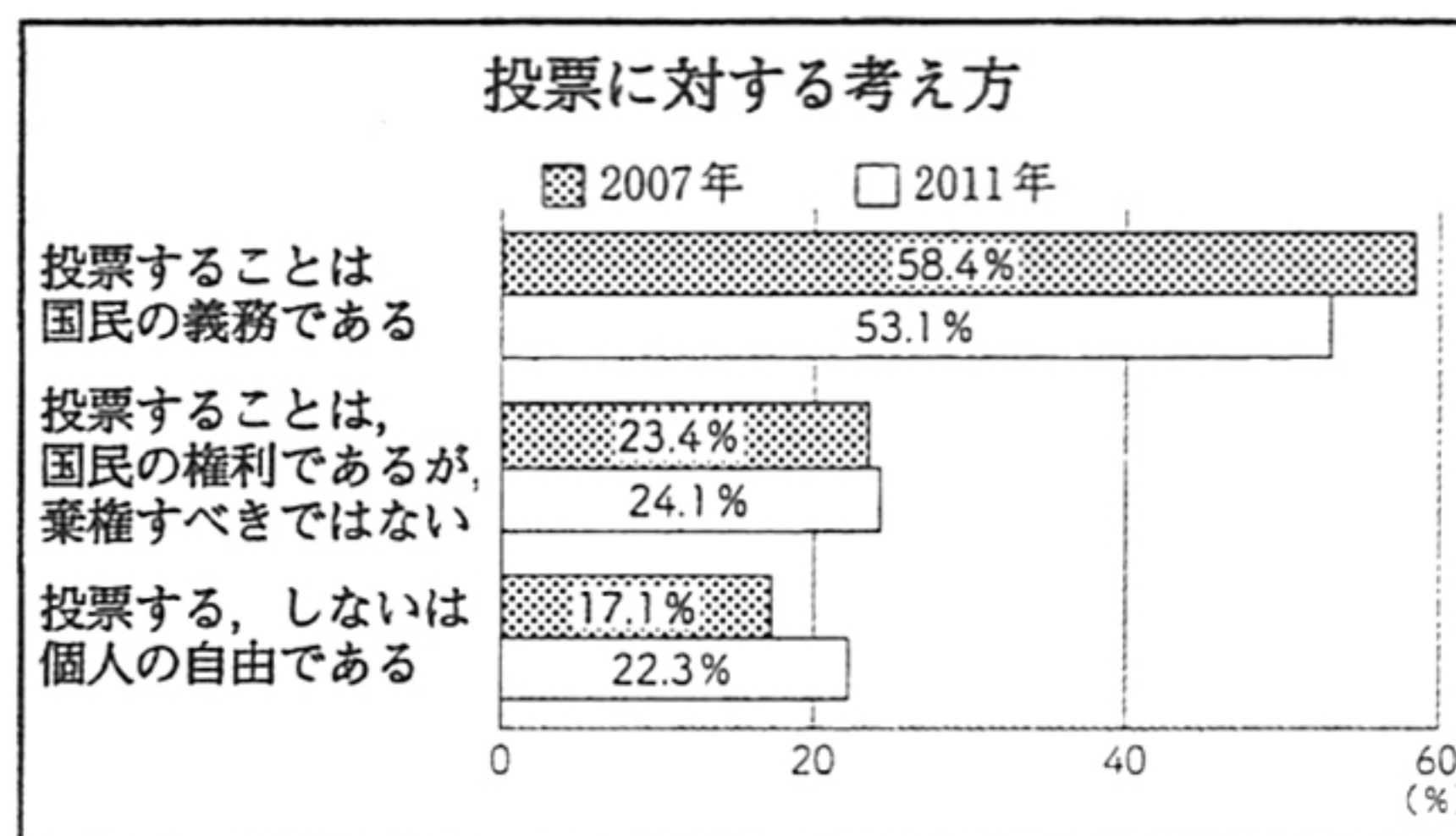
資料1

■投票に関する意識調査

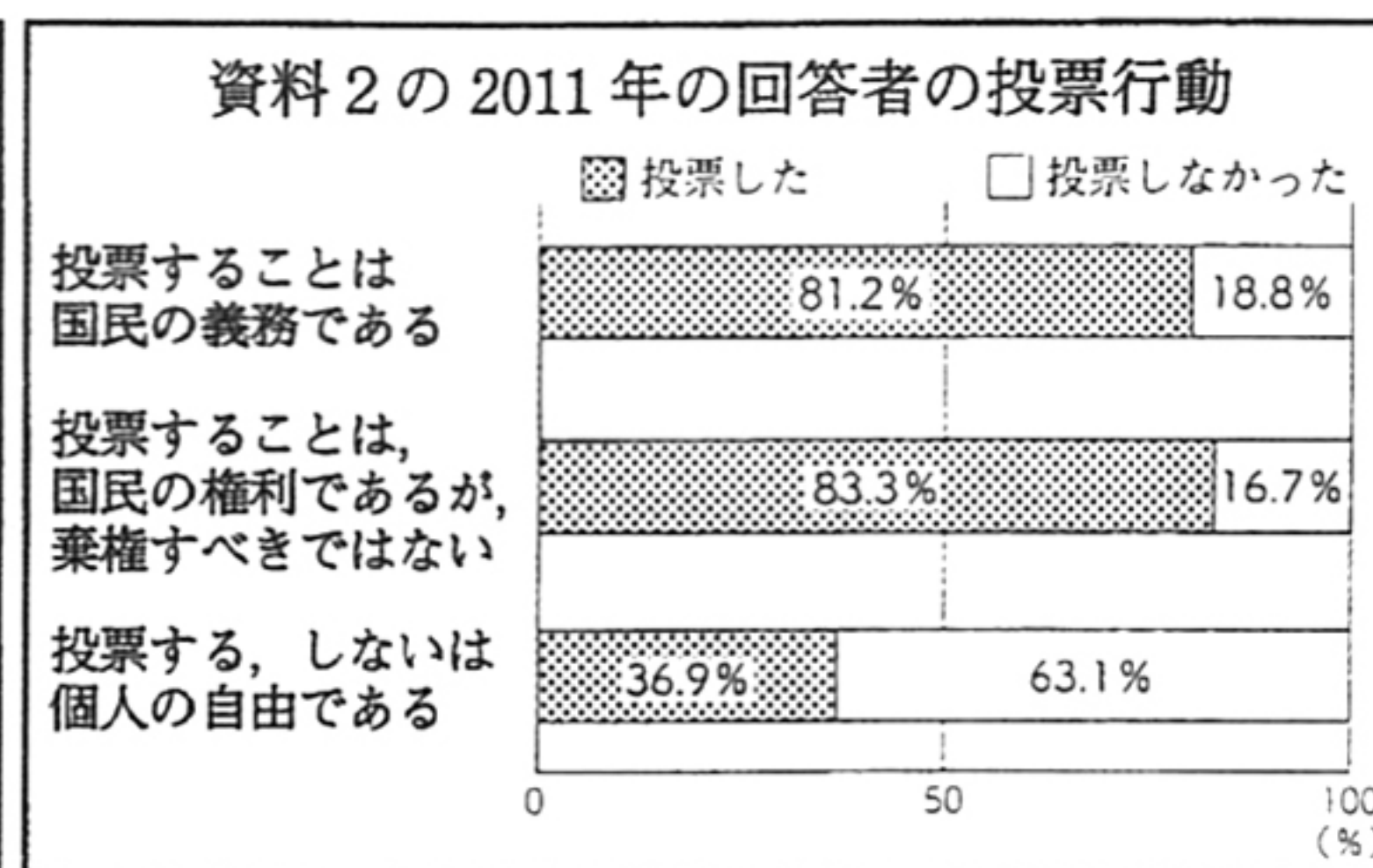
次の二つの資料は、有権者を対象とした2011年の統一地方選挙に関する意識調査の一部である。

資料2は、投票に対する三つの考え方の中から自分の考え方に近いものを一つ答えてもらい、2007年の同様の調査と比較したものである。

資料3は、資料2の2011年の回答者について、統一地方選挙における投票行動を調査したものである。



資料2



資料3

(資料1～資料3は、財団法人 明るい選挙推進協会「第17回統一地方選挙全国意識調査」から作成)

■地方選挙の意義

住民が地域の問題を自らの意思と責任で解決していくことを地方□(h)という。地方公共団体の首長と議会の議員をどちらも住民が直接選ぶことは、地方□(h)の特徴の一つであり、選挙は住民にとって自らの意思を政治に反映させる大切な機会である。

- (ア) □(d)に当てはまる数字を書きなさい。
(イ) 太郎さんは、資料2と資料3から読み取ったことを次の〈条件〉に従って、□のようまとめた。□(e)～□(g)に〈条件〉で定めた略称を書きなさい。
〈条件〉投票に対する考え方は、次の略称を用いる。
○「投票することは国民の義務である」は「義務」を略称とする。
○「投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない」は「権利」を略称とする。
○「投票する、しないは個人の自由である」は「自由」を略称とする。

- 【1】投票に対する考え方を2007年の調査と比較したとき、2011年の調査で割合が増加したのは「□(e)」と「□(f)」である。また、2007年と2011年のどちらの調査でも、割合が最も高いのは「□(g)」である。
【2】2011年の回答者の投票行動では、「□(f)」または「□(g)」と回答した人が投票した割合はどちらも80%を超えているのに対して、「□(e)」と回答した人が投票した割合は低いことがわかる。有権者の投票行動は、投票に対する考え方で違いがあると考えられる。

- (ウ) □(h)に当てはまることばを漢字二字で書きなさい。

1

① ②(ア) 資本 ②(イ)

②(ウ) ③

④ 議会は、首長に対して

⑤(ア) 年

⑤(イ) (e) (f) (g)

⑤(ウ)